



飯田・下伊那地域 自然エネルギー事業による地域づくり

2020.12.27

おひさま進歩エネルギー株式会社

電源開発担当 柏木愛

長野県飯田市・下伊那



豊富な日射量



くだものが豊富



りんご推し



いいだ人形劇フェスタ
イメージキャラクター
ゆるキャラ「ぼお」



遠山郷観光協会
イメージキャラクター
遠山郷観光大使「とおよま丸」



結い(UI)ターン
イメージキャラクター
「ゆいたん」

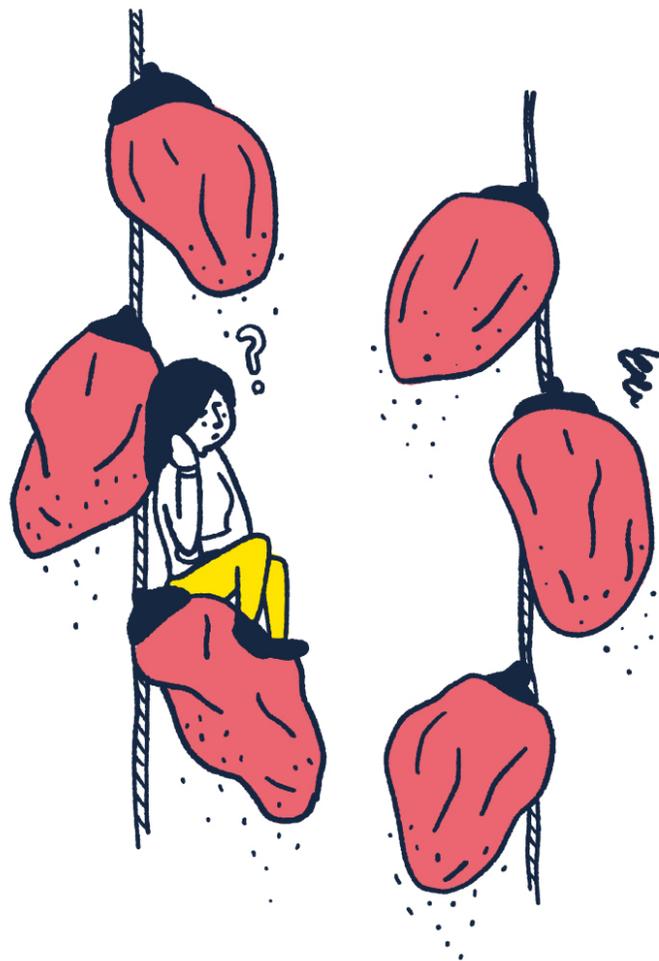


丘のまちフェスティバル
マスコットキャラクター
「ナミキちゃん」

地域のお祭り：地域自治



気候危機の影響も



おひさま進歩エネルギー株式会社



創業 2004年

社員数 11人

事業

- ①省エネルギー事業
- ②創エネルギー事業
- ③蓄エネルギー事業
- ④コンサルティング
- ⑤環境学習



マスコットキャラクター
「さんぽちゃん」

SUN+NPO=さんぽ

飯田下伊那地域を中心に、地球温暖化を防止するためCO2削減事業を行っています。

おひさま進歩エネルギー株式会社

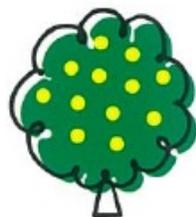
企業理念

まちをつくる。
あたらしい
緑のエネルギー



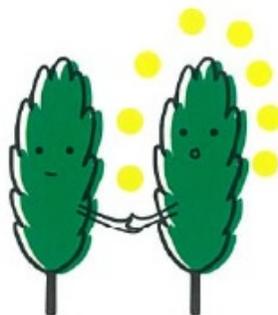
環境問題を後世に残さない
未来志向のエネルギー

太陽光発電や小水力発電など、地球温暖化を先送りしない未来志向の自然エネルギーをお届けします。



まちをつくる
地域に役立つエネルギー

100年後も幸せな暮らしがあるように。
まちをつくる地域に役立つエネルギーです。



あなたと
一緒につくるエネルギー

いいことはみんなでやりたい。みなさんに育てていただく、想いをのせたエネルギーです。

おひさま進歩エネルギーの特徴

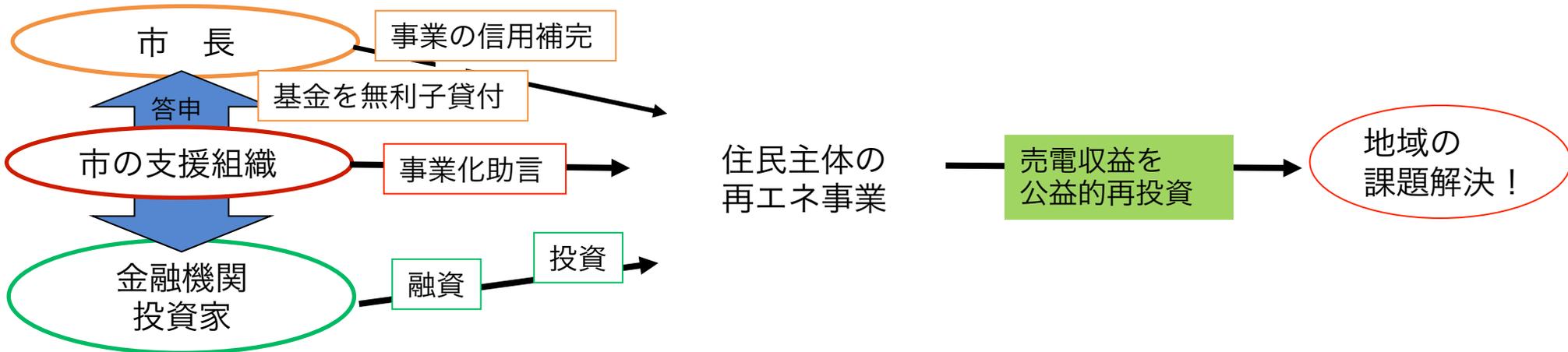
- 日本初の太陽光発電の市民出資「おひさまファンド」
- 太陽光発電「第三者所有モデル」のパイオニア
(通称：屋根貸し事業、PPAモデル)
- おひさま発電所368カ所（設備容量7,766.8kW）※自社事業分
(公共施設や個人宅、民間企業の屋根、野立てなど
飯田下伊那地域を中心に、小規模発電所を数多く運用)

飯田市の「地域環境権条例」

飯田市再生可能エネルギーの導入による 持続可能な地域づくりに関する条例

「地域環境権」とは？

再生資源は市民の総有財産。そこから生まれるエネルギーは、市民が優先的に活用でき、自ら地域づくりをしていく権利がある。



飯田市立 旭ヶ丘中学校 生徒会選挙で公約したパネル設置実現



生徒会選挙に立候補した学生が校舎へのパネル設置計画を公約。校長、地域自治会やPTA、行政がその熱意に動かされ、後輩に引き継がれ2年越しで実現。

58kW (2016年3月16日～)

地域環境に中学生一役

飯田 旭ヶ丘中 生徒が太陽光発電実現

地域と一体となって環境問題対策に取り組む飯田旭ヶ丘中学校で、太陽光発電が始まった。生徒の提案をもとに、二年かけて事業を実現。つくり出した電力を売電事業などに活用し、地域とともに歩み続ける。(高畑章)

生徒会や伊賀良、山本両地区の住民らでつくる推進協議会が、市高一年が、福島第一原発の事故を踏まえ、民出資をもとに発電事業を手掛ける同市の「おひさま進歩エネルギー」と協働する。市公約に掲げて当選した地域づくり事業の認定を受けた。

南校舎の屋上に設置した太陽光パネル二百十六枚などを活用する。一日の出力は一般家庭十五戸分の約五十六キロを見込み、校内の装置で交流する変換して電力会社に売る。

ほかに武道場に設置した太陽光パネルで発電し、体育館の非常用電源に役立てる。期間は二年、費用は...

南校舎の屋上に設置された太陽光パネル
飯田市旭ヶ丘中

総額約千七百万円。
事業の起点は、二〇一四年度の生徒会役員を決める選挙。副会長候補だった羽田野勇二さん「東京都大塩尻原発の事故を踏まえ、民出資をもとに発電事業を手掛ける同市の「おひさま進歩エネルギー」と協働する。市公約に掲げて当選した地域づくり事業の認定を受けた。」

南校舎の屋上に設置した太陽光パネル二百十六枚などを活用する。一日の出力は一般家庭十五戸分の約五十六キロを見込み、校内の装置で交流する変換して電力会社に売る。

ほかに武道場に設置した太陽光パネルで発電し、体育館の非常用電源に役立てる。期間は二年、費用は...

南校舎の屋上に設置された太陽光パネル
飯田市旭ヶ丘中

中日新聞：2016年3月29日

旭ヶ丘中学校 「エネルギーと地域」を スタッフと一緒に学ぶ



エネルギーの地産地消



電力小売もスタート

2004~



電気を送る



2018~

電気を売る



電気を使う



電気をつくるだけではなく、売る事業もスタート

南 信 州
CAMP
session

お客様の例



「手づくりのあたたかさ」

●せいの森キャンプ場

長野県下伊那郡阿智村清内路2991

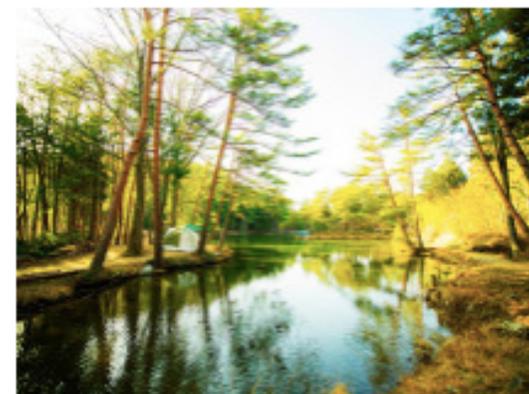


ONSEN CAMP

「生きる力を取り戻す森の休日」

●四徳温泉キャンプ場

長野県上伊那郡中川村四徳547



「おおぐて湖 de Chillout」

●おおぐて湖キャンプ場

長野県下伊那郡下條村睦沢7144

地域の子ども達への環境意識への働きかけ



おひさまパワーを確認！

設置当時の園児たちは20歳。
次世代の担い手に。



「もったいない」を学ぶパネルシアター



訪問者にもアピール
(屋外)



園児向けパネルシアター



飯田まちづくり電力と
連携した環境学習



- 高校生と地元企業をつなぐ事業

自然エネルギー事業者の仲間を増やす 飯田自然エネルギー大学



2016年5月開校。2020年11月～第3期開講。
学長 諸富 徹教授（京都大学大学院経済学研究科）

おひさま進歩エネルギー 10年計画
地域の電力50%を
地域の再生可能エネルギーでまかなう



地域の発電の歴史から学ぶ エネルギー自治

飯田下伊那地域では明治期～昭和初期、
地域住民が株式会社や電気利用組合を組織して、発電事業を行った。

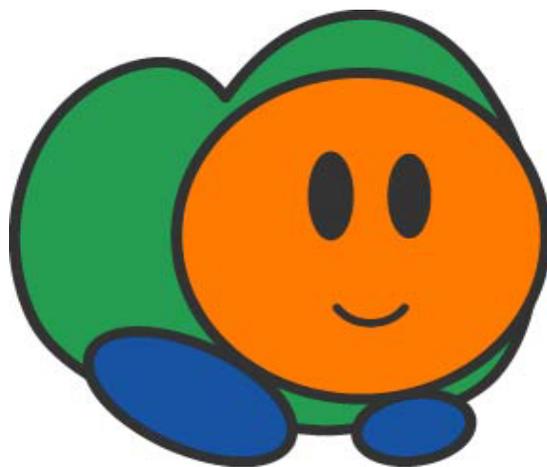


日本初の組合型小水力発電、竜丘電気利用組合の発電所(30kW)
大正3年～昭和10年代

小水力のポテンシャル、全国1位



ご清聴ありがとうございました



さんぽちゃん

一歩、二歩、さんぽ、これからも進んでいきます。